



2024年3月3日 発行
社会福祉法人 尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ2

たくさんの思い出でいっぱいとなった1年も締めくくりの時期となりました。4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子どもたち。4月から新たな気持ちでスタートを切れるように、今から生活習慣をしっかりと見直しましょう。

《 2月の感染症情報 》

2月は感染症の報告は
ありませんでした。

親子で感謝を伝え合おう

「よくできたね」とほめるのではない。
「ありがとう、助かったよ」と感謝を伝えるのだ。感謝される喜びを体験すれば、自ら進んで貢献を繰り返すだろう。

オーストラアの心理学者、アルフレッド・アドラーの言葉です。

お子さんにとって、ほめられるのはうれしい。でも、同じ目線に立って感謝を伝えてもらえる「ありがとう」は、もっとうれしい。そして、たくさんの「ありがとう」と言われるほど、人にも優しくなれるのではないのでしょうか。

3月9日は「サンキューの日」。ぜひ、うちでも実践してみてくださいね。

百日咳

沖縄県内で、百日咳が過去最多を大きく上回るペースで増加しています。(注意喚起が行われています。2月14日現在)。

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに5種(4種)混合ワクチンの接種を開始するよう呼びかけられています。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をしてください。

また、児童、生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

○感染経路：咳などによる飛沫感染、接触感染

○潜伏期間：7～10日間

○症状

・普通の風邪症状で始まり、約2週間のうちに次第に咳の回数が増えて程度も激しくなる。

・次第に特徴のある発作性けいれん性の咳となり、短い咳が連続的に起こり、息を吸う時に笛のようなヒューヒューという音がでる。発熱はないか、あっても微熱程度。

・激しい発作は次第に減少し、全経過約2～3か月で回復

○予防：五種(四種)混合ワクチンの接種

(定期接種対象者生後2～90ヶ月、計4回接種)

(沖縄県感染症情報センター、参照)

進級・入学に向けて予防接種の確認を！

3月1日(水)～3月7日(火)は「子ども予防接種週間」となっています。

① 「子ども自身がつかからない」

② 「かかっても軽症ですむように」

③ 「ほかの人にうつさない」

ための予防接種です。

3月は進級・入学を控えた時期でもありますので、予防接種の未接種がないか確認してみましょう。生まれたばかりの赤ちゃんには、お母さんからの免疫物質が移行しています。しかし、その免疫の量はだんだん下がり、生後6ヶ月頃にはなくなります。免疫の量が下がると、さまざまな病気にかかりやすくなります。感染は子どもにとって大きな負担であり、脳症などの重篤な合併症の危険も伴います。このためワクチンで防げる病気「VPD」に関しては、生後2か月から順次予防接種を行い、子どもたちの命を守っています。

小学校前のお子さんはMR(麻しん・風しん混合)ワクチン2期の期限が3月31日までとなっています。期間内は無料ですが、過ぎてしまうと自己負担になってしまいます。接種忘れがないか、親子健康手帳の記録を確認しましょう。

1年間、子ども達が健康に過ごせるよう、保護者の皆様には色々のご協力を頂きましてありがとうございました。子ども達は、この1年で身体も一回り大きくなり、色々な事が出来るようになりました。ご家庭でも1年間の頑張りをたくさん褒めてあげてください。来年度も引き続きよろしくお願ひ致します。